

三好市立櫟生小学校

1 学校の概要

① 児童数 28名

② めざす児童像

- ・ふるさとを愛し，自他を認め合う心豊かな児童の育成
- ・向上心を持って自ら学ぶ児童の育成
- ・健康で安全に生活するたくましい児童の育成

③ 環境目標・テーマ

～西祖谷山村の豊かな自然を守り，地球にやさしい学校にしよう～

- ・「節電」「節水」「ごみ分別」「リサイクル」に取り組み，自ら行動できる子どもづくり
- ・地域の環境美化に取り組み，郷土愛をはぐくむ学校づくり



2 行動方針

- ① 節電・節水に努めます。
- ② 学校におけるリサイクル活動を行います。
- ③ 学校におけるごみの分別に努めます。
- ④ 地域の清掃活動に取り組みます。

3 行動

① 節電・節水への取り組み



節電・節水のよびかけ

② 学校におけるリサイクル活動



アルミニウム缶のリサイクル活動

③ 学校におけるごみの分別

本校では、可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・発泡スチロール・びんの八種類のごみ箱を設け、ごみ分別を行っている。教室で出るごみはほとんどが可燃ごみなので、可燃ごみ以外のごみ箱は職員室に設置している。職員一人ひとりがごみ出しの際に注意をして分別を行っている。

④ 地域の清掃活動



毎年、5月末にふれあい公園と祖谷川の清掃を行っている

4 具体的効果

- ◆ 節電や節水を各学級や廊下に掲示したり、職員一人ひとりが意識をして児童に啓発したりすることで、学校全体で取り組むことができた。特に節電には児童自身が積極的に取り組み、高学年になると、自分たちの行動に合わせて必要な分だけの電気をつけるなどという行動が見られるようになってきた。
- ◆ アルミニウム缶のリサイクル運動に取り組むことで、リサイクルに興味が出てきている。また、地域の方に協力を呼びかけることで、地域の方と交流する機会も増えている。
- ◆ 毎年、全校でふれあい公園や祖谷川の清掃を行うことで、地域の宝でもある豊かな自然や環境を大切にしようとする意識が高まってきている。9月に行ったふるさと探訪でも、帰り道に自主的にごみを拾う姿が見られ、自然やふるさとを思う気持ちが感じられた。

5 改善点

- ◆ 節電・節水を呼びかけてはいるが、節水についてはなかなか定着せず、声かけがいつも必要な状況である。特に、低学年の児童に対して、歯磨きや手洗い場の掃除の時間には、教師が横で声かけをしている。節水が自然にできるよう、指導をしていく必要がある。
- ◆ 休日明けの運動場には、お菓子のかすが落ちていることがしばしばあった。環境保全の考え方を児童に育てると同時に、家庭にも同じような啓発をしていかなくはないと考えている。